

# ロータリー財団国際親善奨学金

親善使節のための国際教育プログラム

国際ロータリーのロータリー財団

ロータリー財団国際親善奨学金プログラムは、現在世界最大の私的資金による国際奨学金プログラムです。

1 学年度国際親善奨学金 1 学年の間の海外留学のために授与されます。

マルチ・イヤー国際親善奨学金 学位を得るための2年間の海外留学のために授与されます。

文化研修のための国際親善奨学金 海外での3ヶ月または6ヶ月間の集中語学研修と文化実習のために授与されます。

## 国際親善奨学金

海外で奉仕する年間およそ1,300人の学生を支援します。

奨学生は、60を超えるさまざまな国々の文化を体験します。

およそ70カ国から奨学生が派遣されます。

世界中に広がる35,000人以上の奨学生学友のネットワークを作り出してきました。

半世紀以上にわたって、学生たちに世界理解を改善するための制限を与えてきました。

## 親善使節

国際親善奨学金プログラムは、国際理解と世界平和を促進するためにロータリー財団の使命を次の通りの方法で支援するものです。

- ・ 他の国において研究に当たる親善使節を派遣し、異文化についての認識と敬意を深める；
- ・ ロータリーの奉仕プロジェクトへの積極的な参加を通じて奨学生にロータリーの理想である「超我の奉仕を鼓吹する；
- ・ 自地域社会と自国の人々の生活を向上させるために個人として職業人として献身するよう奨学生に激励する；
- ・ 世界社会における人道的なニーズを提起することができる指導者を育成する；
- ・ 地理的に均整のとれた奨学生の配分を通じて世界の全地域に良い影響を与える；
- ・ ロータリーと奨学生の生涯の関係を助長する。

留学期間中、ロータリーの国際親善奨学生は、ロータリー・クラブや地区、大学、公共団体、その他の会合に出席してホスト国の人々に対する親善使節としての役割をはたすことが期待されています。留学を終えて帰国した後、奨学生は、自分を送り出してくれた地元のロータリアンを始め自国の人たちと留学中の体験について討議し、報告するものと期待されています。

## 顧問ロータリアン

他の奨学金プログラムにはない財団奨学金の特徴は、奨学生とロータリー・クラブおよびロータリアンとの交友関係です。各奨学生には、スポンサー地区とホスト地区の双方で顧問ロータリアンが任命され、奨学生が他国での留学生活をつつがなく送ることができるようにオリエンテーションや助言を与え補佐することになっています。

### 一般的資格条件

応募者は、少なくとも2ヵ年の総合大学または単科大学の大学課程を修了しているか、あるいは、高校を卒業したうえで、奨学金年度が始まるまでに少なくとも2ヵ年間、その専門職業に従事していなければなりません。応募者は、ロータリー・クラブが存在する国の市民でなければなりません。申請者の本籍または居住地、全日制の教育機関、フルタイムで就職しているところにあるロータリー・クラブを通じて申請しなければなりません。ローターアクト・クラブの会員にも応募資格があり、応募することが奨励されています。

ロータリー財団の国際親善奨学金に応募する資格のない人々：

ロータリアン；ロータリー・クラブ名誉会員；クラブ、地区、その他のロータリー関係の組織、および、国際ロータリーの職員；上記の人たちの配偶者、直系卑属（子または孫）、直系卑属の配偶者、または、上記の人々の分類に属する生存者の尊属（血縁による両親または祖父母）。

**「顧問ロータリアンやクラブとの接触を通じて人々との絆を体験させてくれる、こんな奨学金はほかにないと思います。」**

国際親善奨学生 キャット・バーゲロン（米国からアイルランドへ留学）

## 1 学年度国際親善奨学金

この奨学金の支給期間は、ロータリー財団管理委員会が指定した教育機関における正規の1学年度（通常9ヶ月間）です。この奨学金は、ほとんどの分野における研究に使うことができますが、個人独自での研究、医学生の内ターン、研修医師としての費用、また、ホスト国でのフルタイムの雇用のために使うことはできません。この奨学金の主要な目的は、親善使節としての役割にあり、期間も1学年度に限られていますので、学位や卒業証書を取得することはできません。奨学生は、ホスト国の源吾に堪能であることが期待されていますので、普通、この奨学金は、外国語の修得のために適切ではありません。

### 奨学金で賄われる費用は？

奨学金は、往復旅費、1カ月の語学集中研修（財団から指定された場合のみ）、通常の授業料、妥当な額の部屋代と食費、ある程度の必要な手数料を賄うためのものです。奨学生の好みで費用をかけても、財団は追加経費を支払いません。通常、指定された教育機関で実際にかかる費用に基づき、米貨13,000から25,000ドルの間の奨学金が支払われます。RIのウェブサイト [www.rotary.org](http://www.rotary.org) を参照して、特定のプログラム年度に授与される金額の上限を確認してください。経費が至急金額の上限を超える教育機関を希望し、そこに指定された申請者は、自分自身で追加経費を賄わなければなりません。

## マルチ・イヤー国際親善奨学金

この奨学金の支給期間は、ロータリー財団管理委員会が指定した教育機関における2年間です。この奨学金は、奨学生が大学の学位プログラムに入学し、1つの学位取得に直接かかわる授業を受講するなら、ほとんどの分野の研究に使うことができます。

### 奨学金で賄われる費用は？

マルチ・イヤー国際親善奨学金は、1年間につき、一律、約米貨12,500ドルまたはその相当額を支給します。RIのウェブサイト [www.rotary.org](http://www.rotary.org) を参照して、特定のプログラム年度に授与される金額の上限を確認してください。奨学金は、1つの教育機関で1つの学位を取得するためにのみ支給されます。支給される金額を超えた費用は、奨学生の責任となります。

## 文化研修のための国際親善奨学金

この奨学金の支給期間は、ロータリー財団管理委員会が選定した語学学校における3カ月または6カ月（スポンサー地区が選択したもの）の集中語学研修と文化実習のためのものです。3カ月の奨学金は、応募者が既にある程度堪能な外国語を学ぶのにふさわしく6カ月の奨学金は、応募者にとって修得に困難を要する外国語を学ぶのに適しています。一般的申請資格の条件を満たすことに加えて、申請者は、同奨学金で学習する語学を少なくとも1年間、大学レベルの授業で受講したか、または、それに相当する語学力を持っていることが必要です。

### 奨学金で賄われる費用は？

奨学金は、往復旅費、授業料と手数料、語学研修、ホームステイの費用を賄うためのものです。可能な場合、奨学生はホスト国の家庭にホームステイすることになります。3カ月の奨学金の場合は、約米貨 12,000 ドルまたはその相当額、6カ月の奨学金の場合は、米貨 19,000 ドルまたはその相当額です。ほとんどの奨学生は、ホスト国における実際の研修費に基づいた、これらの金額よりも少ない額が支給されることになります。

R I のウェブ・サイト [www.rotary.org](http://www.rotary.org) を参照して、特定のプログラム年度に授与される金額の上限を確認してください。

**「今では、奨学生になる前よりもっと、他の文化、国々、宗教に理解を示せるようになりました。」**

国際親善奨学生 イブラーヒーム・ムスタファー・ニザモグラー（トルコからオーストリアへ留学）

## 奨学金の給付条件

奨学金の全給付条件については、ロータリー財団国際親善奨学金申請書または R I のウェブ・サイト [www.rotary.org](http://www.rotary.org) を参照してください。

## 申請手続

注意：ロータリー財団の国際親善奨学金のうち、どの奨学金が提供されるかは各ロータリー地区によって決定され、年によっては異なります。奨学金を設定していない或いは1種類の奨学金のみを設定している地区もあります。応募者は、1)希望の種類の奨学金が提供されているかを知るため、2)地区での申請締切日はいつかを問い合わせるため、3)申請書類の入手のためには、最寄りのロータリー・クラブに連絡することが必要です。また、申請書は、最寄りのロータリー・クラブに提供される国際親善奨学金が提供されているかを確認し、ロータリー財団から直接入手することもできます。

各クラブで選考されたクラブ確認の候補者は、地区レベルでの審査、選考に付され、地区で選考された地区確認の申請書類は、管理委員会の最終承認と教育機関指定を得るため、ロータリー財団に提出されます。

ロータリー財団は、奨学金候補者全員に、その最終決定と指示を直接通知します。クラブと地区の確認なしに直接ロータリー財団に提出された申請書は考慮されません。

## 申請書の締切日

申請書の締切日は、地区の締切に応じて各ロータリー・クラブが決めます。クラブの締切日は、留学年度の前年の早くて3月、遅くても7月15日までです。例えば、2002年7月1日以降、2003年6月30日までに留学を希望する申請者の場合、2001年3月から7月15日の間に地元のクラブに申請書を提出しなければなりません。ロータリー財団が承認した応募者には、申請書を提出した年の12月15日までに教育機関を指定し、その旨を通知します。

### 【お問合わせ先】

国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

TEL: 0725-23-7264 FAX: 0725-23-9264 E-Mail: [kojima-s@eagle.ocn.ne.jp](mailto:kojima-s@eagle.ocn.ne.jp)